

4. 高齢者・身体障害者等のバリアフリーに対する意向調査

高齢者、身体障害者などの方々の利用状況や意向を基本構想へ反映させるため、高齢者、身体障害者などの方々を対象としたワークショップ、タウンウォッチングを行いました。

(1) 第1回ワークショップ

高齢者、身体障害者などの方々を対象に、横川駅を起点として利用する施設や移動手段、経路などの行動調査及び意見交換会を行いました。

日時	平成16年(2004年)7月17日(土) 午前10:00~12:10
会場	西区民文化センター
参加者	参加者28名 (肢体不自由者 10名 視覚障害者 3名 聴覚障害者 2名 高齢者 9名 その他 5名) ※内訳に重複あり ※4班に分けて実施。



ア. よく利用する施設(次ページ参照)

調査の結果、よく利用する施設、利用が見込まれる施設は、以下のとおり。

(駅北口側) 三篠公民館、長崎病院、育成会総合福祉センター(駅西側)

(駅南口側) 西区民文化センター、フレスタ、エルセルモ玉姫

(その他) 中央公民館、アリーナ跡地のスーパー出店予定地(今後利用が見込まれる)

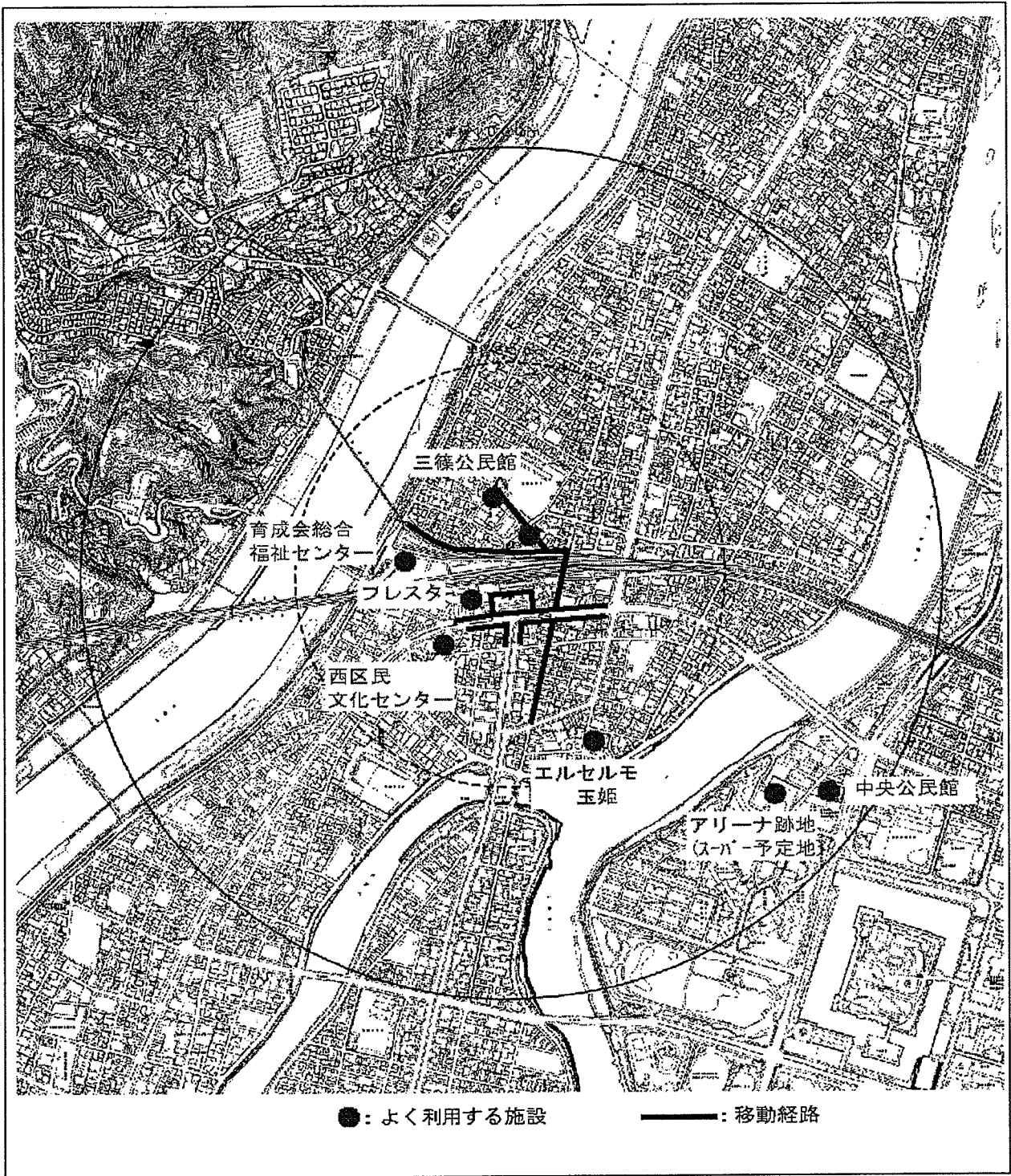
イ. 移動経路(次ページ参照)

よく利用する施設、利用が見込まれる施設へ歩いていく経路については、駅の北口と南口の連絡には、駅東側にある旧国道(県道古市広島線)、駅北口側の施設については、北口前面の可部線沿いの市道、三篠小学校南側の市道、駅南口側の施設については、南口駅前広場、国道54号、横川本通り商店街を利用するという意見がありました。

ウ. 経路上の問題点

駅構内や駅前広場などについては、段差(エレベーター、エスカレーターなどの不足)や案内表示の不足(視覚障害者誘導用ブロックを含む)、トイレ、券売機など設備の利用しにくさや安全対策への不安などについての意見がありました。

歩道や交差点については、狭い歩道や歩道の未整備、段差、違法駐輪・駐車などの障害物、信号機の歩行者用青時間の短さなどについての意見がありました。



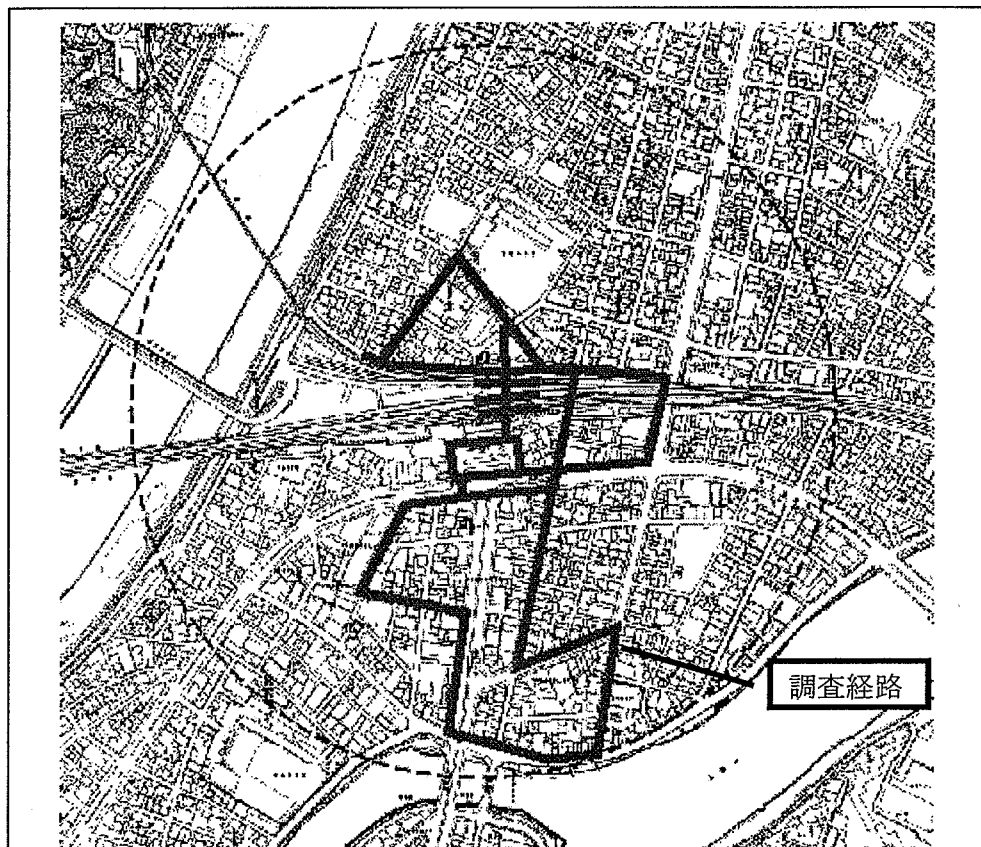
(2) タウンウォッチング

ワークショップでいただいたご意見をもとに選定した調査対象経路について、実際に高齢者、身体障害者などの方々と一緒に歩き、気になる箇所などについて、意見交換を行いました。

日時	平成 16 年 (2004 年) 8 月 29 日 (日) 午後 1:30~4:00
参加者	参加者 24 名 〔 肢体不自由者 9 名 視覚障害者 2 名 聴覚障害者 2 名 高齢者 8 名 その他 4 名 〕 ※内訳に重複あり ※4 班に分けて実施。

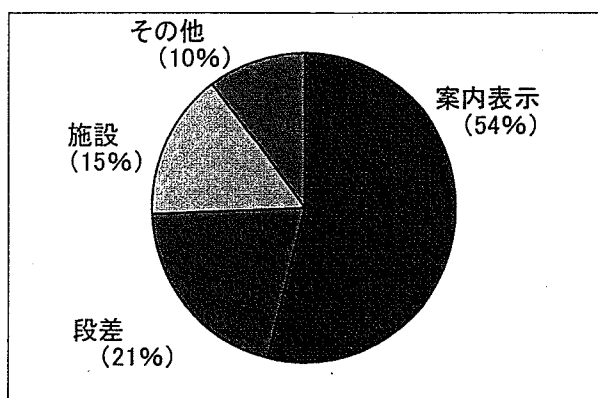


調 査 場 所	
A 班	駅前広場～駅北口～三篠公民館～長崎病院～駅前広場～西区民文化センター
B 班	駅前広場～横川本通り商店街～エルセルモ玉姫～西区民文化センター
C 班	駅前広場～駅前広場内歩道～横川新道商店街～広島信用金庫横川支店～西区民文化センター
D 班	駅前広場～南口券売機、改札口～山陽本線下りホーム～可部線ホーム～北口券売機、改札口～南口改札口～駅前広場～西区民文化センター



ア. 駅施設

駅施設に関する意見の内訳



駅施設に関する意見は、案内表示の大型化や、点字表示、視覚障害者用誘導ブロックの充実など「案内表示」に関する意見が54%、エレベーターなど昇降設備設置など「段差」に関する意見が21%、身体障害者の方々も利用できるトイレの設置や車いすでも楽に通行できる改札口の整備など「施設」に関する意見が15%となりました。

それぞれの主な意見は以下のとおりで

す。

(ア) 案内表示のバリアフリー化

運賃表の大型化、音声による案内誘導、時刻表の点字表示、視覚障害者用誘導ブロックによる列車の乗降場所の案内など

(イ) ホーム等への昇降設備

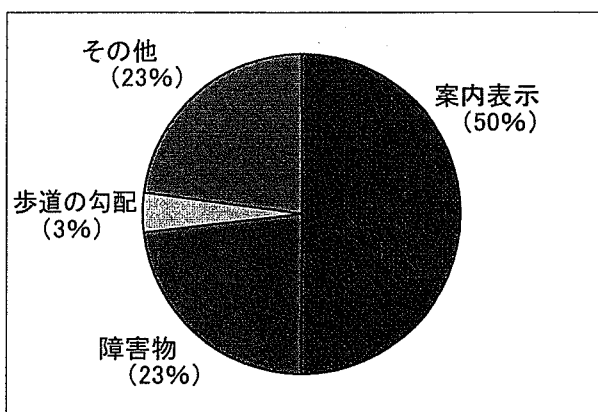
ホームへのエレベーター、エスカレーターを設置、スロープ等による段差の解消など

(ウ) 施設のバリアフリー化

身体障害者の方々も利用できるトイレの設置、広い改札口の整備、硬貨を一度に複数枚投入できる券売機の設置など

イ. 駅前広場

駅前広場に関する意見の内訳



駅前広場は、平成16年(2004年)3月、交通結節点改善事業により再整備されており、段差の解消や音声案内などバリアフリー化についても様々な改良が施されました。この整備については、大変好評でしたが、更に望むべき点として出された意見は、案内表示、バス停の点字表示、視覚障害者用誘導ブロックの充実など「案内表示」に関する意見が50%、放置自転車、店舗の看板など「障害物」に関する意見が23%、「歩道の勾配」に関する意見が3%

となりました。

その他、低床路面電車、低床バスの導入促進などの意見がありました。

それぞれの主な意見は以下のとおりです。

(ア) 案内表示のバリアフリー化

JRの改札口、券売機を示す案内表示、バス停の行先表示、時刻表の点字表示、券売機へ誘導する視覚障害者用誘導ブロックの設置など

(イ) 障害物の撤去

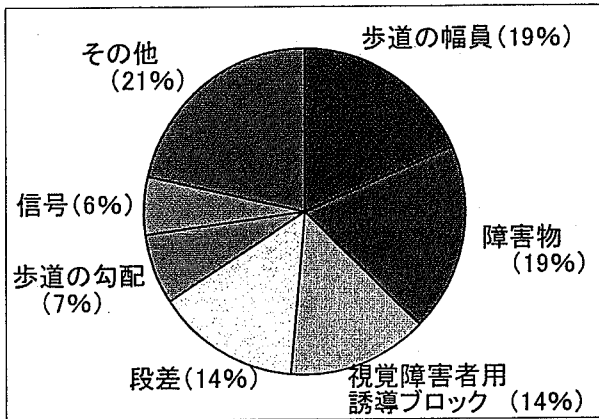
放置自転車、店舗の看板など障害物の解消など

(ウ) 歩道勾配のバリアフリー化

歩道勾配の改善

ウ. 駅周辺地区の道路

駅周辺地区の道路に関する意見の内訳



駅周辺地区の道路に関する意見は、歩道が狭い、未整備など「歩道の幅員」に関する意見が 19%、放置自転車、店舗の看板など「障害物」に関する意見が 19%、視覚障害者用誘導ブロックの設置、視覚障害者用誘導ブロックの輝度差など「視覚障害者用誘導ブロック」に関する意見が 14%、歩車道の段差など「段差」に関する意見が 14%、縦断勾配、横断勾配など「歩道の勾配」に関する意見が 7%、青信号の時間など「信号」に関する意見が 6%となりました。

た。

その他、舗装が老朽化しているなどの意見がありました。

それぞれの主な意見は以下のとおりです。

(ア) 歩道の幅員

歩道の広幅員化、歩道整備など

(イ) 障害物の撤去

放置自転車、店舗の看板、陳列商品など障害物の解消など

(ウ) 視覚障害者用誘導ブロック

視覚障害者用誘導ブロックの設置、輝度差のある視覚障害者用誘導ブロックの改良など

(エ) 段差

歩車道の段差の解消、スロープの設置など

(オ) 歩道の勾配

横断勾配、縦断勾配の解消など

(カ) 信号

青信号の時間の延長、信号機のない交差点の信号機設置など